

講座開催案内

活かそう! みんなの力

ひとりひとりにできることは小さくても、その小さな「できること」を持ち寄ることで、いくつもの「できる」が増えていきます。誰もが参加しやすく、意見を言いやすい組織にするためのヒントを見つけてませんか。



- ◆日時◆ 11月12日(土) 午後2時~4時
- ◆対象◆ テーマに関心のある人
- ◆定員◆ 申込先着30人
- ◆保育◆ 申込先着6人 (2歳~就学前児童) ※保育申込メ切 11月5日(土)
- ◆講師◆ 青山 織衣 さん (コミュニティワーカー)

妻と夫のほどよい関係とは?

なんだかいつも夫(妻)にモヤモヤしている…。 「妻(夫)が何を考えているのかわからない。」 「夫(妻)に何かきいてもきちんとした答えがない。」 ということはありませんか? 夫婦の関係について見つめ直し、ほどよい関係を築いてみませんか?



- ◆日時◆ 11月27日(日) 午後2時~4時
- ◆対象◆ テーマに関心のある人
- ◆定員◆ 申込先着30人
- ◆保育◆ 申込先着6人 (2歳~就学前児童) ※保育申込メ切 11月18日(金)
- ◆講師◆ 柳谷 和美 さん (おやこひろば桜梅桃李 代表)

「男性のための介護入門講座」

~介護の基本を学ぼう~

《男性対象講座》

いつか介護することになる日に備え、孤立せず介護に向き合う方法を学びましょう。

第一歩を踏み出してみませんか?

- 第1部: 「分かりやすい介護保険制度とサービス」
- 第2部: 「体験談を聞き素朴な疑問を投げかけてみよう!!」

- ◆日時◆ 11月26日(土)午後2時~4時
- ◆対象◆ テーマに関心のある男性
- ◆定員◆ 申込先着30人
- ◆講師◆ 第1部 富士田 正和 さん (社会福祉士・地域包括支援センター 萬寿園 中部)
- 第2部 岸田 順子 さん (岸和田市介護者家族の会「みずの輪」会員)

講座に関するお問い合わせ・申込方法

申込は来館・電話・FAX・メールにて受付

- ご来館・電話受付時間 (月・祝を除く午前9時~午後5時30分)
- メール・FAXでの申込は ①講座名②住所③氏名④電話番号を明記ください

◇保育のご利用について◇

傷害保険料 100円 (令和4年度内有効) (保育は申込みが必要です。)

(子の氏名、ふりがな、生年月日、性別、アレルギーの有無をお知らせください。)

講座レポート

メディアが変われば見方も変わる!!

~ジェネレーションギャップとジェンダー~

8月28日(日)

◆講師◆ 巽 真理子 さん

(大阪公立大学
ダイバーシティ研究環境研究所特任准教授)



これまでメディアは送り手から受け手へ単方向に情報を伝達するものでしたが、SNS など双方向でやり取りができ、情報の真偽を確認できるようになってきました。SNS は世界中に発信することができ、#MeToo運動のように、ひとりの発言がまたたく間に世界に広がることがあります。ただし、信頼できる情報なのかの見極めが必要です。

メディアにおけるイメージの作られ方にも注目する必要があります。会社により、赤ちゃん用のおむつのテレビコマーシャルの内容に大きな違いがあります。ひとつのコマーシャルに対して、母親から大きな批判の声が上がりました。マスメディアで働く女性は増加傾向ですが、まだ割合は低いのが現状です。作り手に多様な視点が必要ですね。



男女共同参画センター

令和5年度 グループ・団体登録説明会

日時: 12月10日(土) 午後3時~5時

場所: 男女共同参画センター

男女共同参画推進の拠点施設である男女共同参画センターでは、男女共同参画社会の実現をめざして活動するグループ・団体に対する支援事業として、グループ・団体の登録制度を設けています。

登録にかかる説明会を開催しますので、令和5年度に登録を希望するグループはご出席ください。

「複業」生活のススメ

~自分らしい働き方でこれからの時代に強くなる~

8月7日(日)

◆講師◆ 山下 弓 さん

(株式会社 PAY FORWARD 代表取締役
キャリアコンサルタント、ファイナンシャルプランナー)



『複業』とは、給与収入と農業収入、または資産運用や不動産収入など違う職種で複数の収入源を持つことです。そのメリットはライフステージに応じて、柔軟な働き方ができ、ワーク・ライフ・バランスの調和をはかれることです。病気やケガ、会社の倒産・解雇などのアクシデントにも強い働き方と言えます。

『複業』という働き方は、一番大切な今=現役時代だけでなく、人生100年時代の定年退職後の人生をも、充実させうる、魅力的な働き方です。生活の基盤を確保したうえで、ステップを踏みながら複業にトライしてみたいかでしょうか。

子どもの毎日をカラフルに♪

~自分らしさを大切に3つのヒント~

9月25日(日)

◆講師◆ 小川 真知子 さん

(NPO 法人SEAN 理事長)



2020年度大阪府内の中学2年生デートDV 予防講座で講師が実施したアンケートによると、男だから(女だから)「〇〇しなさい」「〇〇してはいけません」と言われたことがあると答えた生徒は、男子で40%、女子で62%でした。「人は女に生まれるのではない。女になるのだ」という格言がありますが、大人の言葉がけによってジェンダーが形づくられることは防がねばなりません。子どもの個性を育み、伸ばすためには、アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)に敏感になることが大切です。

岸和田城をライトアップ!

11月12日から11月25日までは「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

毎年「女性に対する暴力をなくす運動」期間中に、全国で啓発活動が展開されています。女性に対する暴力根絶のシンボル「パープルリボン」にちなんで、ランドマークなどを紫色にライトアップ。パープルライトアップには、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して、「ひとりで悩まず、まずは相談してください」というメッセージが込められています。

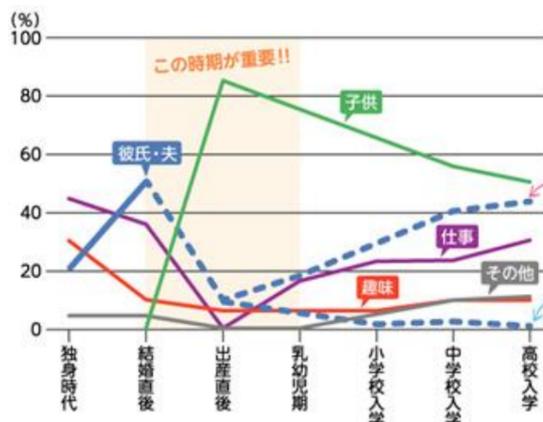
岸和田城のライトアップ

11月12日(土)~27日(日)
日没~午後10時

DV予防啓発パネル展

市役所 11月4日(金)~18日(金) 午前9時~午後5時30分
男女共同参画センター 11月12日(土)~27日(日) 午前9時~午後5時30分

パパの育児休業を考えよう ~パパの育児は、その後の夫婦関係の分かれ道~



このグラフは、(株)東レ経営研究所の調査による「女性の愛情曲線」です。結婚当初は夫に注がれた愛情が、出産後はほとんどが子どもに注がれ、夫への愛情はぐっと下がります。

その後、夫への愛情が徐々に「回復するグループ」と「低迷するグループ」に二極化します。その違いは?

子育てが大変な乳幼児期に子育てを「夫と二人でした」と答えた女性は夫への愛情が回復し、「私一人でした」と答えた女性は夫への愛情が低迷したままです。夫婦で子育てすることは、信頼関係を高め、その後の関係を良好にします。

今年10月、「産後パパ育休」(男性版産休)制度がスタートしました。出生後8週間以内に、2回に分けて最長4週間取得できます。育休について、夫婦で話し合ってみませんか。